

# 宮中晩餐会における挨拶

(2008年5月7日 日本東京)

中華人民共和国主席 胡錦濤

天皇陛下、皇后陛下

ご来賓の皆様：

この度、お招きに応じ貴国に対し公式訪問を行うに際し、天皇皇后両陛下より晩餐会を催していただきましたことに対し、家内と代表団一同を代表し、また私個人の名において、衷心より感謝を申し上げます。この場をお借りして、中国人民の日本国民に対する心のこもったご挨拶と祝福をお伝

えしたいと思います。

中日両国は海を隔てた隣国であり、両国の文化が相通じ、両国国民も仲良く付き合っています。二千年の長きに及ぶ友好往来の中で、両国国民は学び合い、お互いの経験を参考にして、それぞれの国の発展と進歩を促進し、東アジア文明と世界文明の宝庫を豊富なものにしました。両国国民の長い伝統的な友情は、双方の貴重な財産であり、双方がともに大切にすることに値します。

1972年中日国交正常化以来、両国関係に新たな活気が生まれました。双方は中日関

係を指導する基本原則を確定し、両国の指導者は緊密な往来を保ち、両国の互惠協力は日増しに拡大し、人的文化交流は盛んに展開され、両国国民の相互理解と友情は日増しに深まり、国際社会と地域における双方の協調と協力も絶えず強まってきました。中日関係の発展は両国国民に実際の利益をもたらし、アジアと世界の平和と発展にも積極的な貢献をしました。

過去を回顧し、未来を展望して、我々は、中日関係は今新たな歴史的スタートラインに立ち、更なる発展の新たなチャンスに恵まれていることを信じる十分な理由があり

ます。この度の貴国に対する訪問は、相互信頼を強化し、友情を深め、協力を進め、将来を企画し、日本側と共に努力して、中日戦略的互惠関係の全面的な発展の新たな局面を切り開くためであります。訪問において、私と福田総理は以上のような重要な問題をめぐって実の多い会談を行い、幅広い共通認識に達しました。私たちは、双方が共に努力して、戦略的相互信頼を増進し、互惠協力を深化させ、人的文化交流を拡大し、アジアの発展を推進し、グローバルな挑戦に対処し、中日戦略的互惠関係を共に推進していくことで一致しました。双方は

中日の第四の政治文書を発表し、両国関係の将来の発展を共に企画しました。

1992年、天皇皇后両陛下は中国に対し歴史的な意義を持つご訪問をなされました。ご訪問は、両国国民の美しい思い出になり、中日関係史の美談となって伝えられています。天皇皇后両陛下をはじめ、皇室の諸殿下の方々が中日友好のために重要な貢献をなされたことに対し衷心より感謝の意を表します。

それでは、

天皇陛下、皇后陛下のご健勝のために  
皇室諸殿下の方々のご健勝のために、

ご臨席の皆様のご健勝のために、  
貴国のますますのご繁栄と貴国国民の  
ご幸福のために、  
中日両国人民の子々孫々の友好のため  
に、  
乾杯を提案したいと思います。  
乾杯！